

平成29年7月24日
東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題 松江地域農業発見交流会を開催～松江市出身の農林大学校生を対象に～

(ダイジェスト)

7月19日、松江市出身の農林大学校生12名を迎え、揖屋干拓地・玉湯地区において交流会を開催しました。農林大の先生方、指導農業士、関係機関と一緒に、認定新規就農者、農事組合法人を訪ね、進路選択に必要な地域情報を学ぶ機会になりました。

7月19日(水)、東部農林振興センター主催(共催:松江市農業士会、松江地域農業再生協議会)により下記のとおり実施しました。

猛暑の中、故郷で農業に取り組む皆さんの話を熱心に聞き、「農業の厳しさや面白さ」、「新規就農を目指すにあたって大切な心構え」、「実践的な就農前研修の大切さ」について学びました。学生から「肥培管理のポイント」や「取得すべき資格」等について、質問がありました。

[午前] 認定新規就農者の視察(揖屋干拓地)

①施設野菜経営体 (平成29年6月就農)

- ・JAから水稻育苗後のハウスを借りて、ミニトマトトロ箱栽培(8a)を開始
- ・研修、体験の経過、自営を希望した理由、今後の課題

②露地野菜経営体 (平成27年3月就農)

- ・営農前の実践研修、ほ場確保までの苦労
- ・調製場、格納庫前で、装備した乗用型半自動移植機の性能、昨年度の粗収益

[午後] 農事組合法人の視察 (玉湯地区:平成23年4月設立)

- ・研修、体験受入の経験、雇用の状況、学生に期待すること
- ・地域貢献の概要
- ・新たな挑戦(トロ箱栽培増棟、調製機器導入、水稻密苗利用)



揖屋干拓地:水稻育苗ハウスの有効活用



玉湯地区:ミニトマトトロ箱栽培